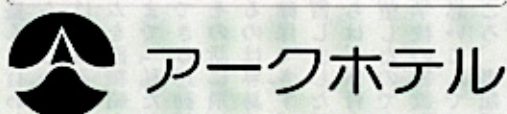
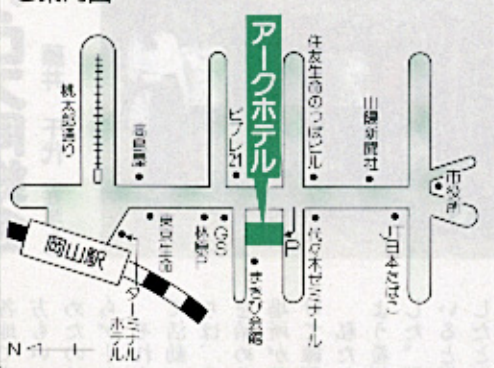


[中国・四国支部] 設立總會のご案内

ご案内図



アークホテル

〒700 岡山市下石井2丁目6-1
TEL 086(233)2200 FAX 086(225)1663

〈有料駐車場〉

立体駐車場の為、5ナンバーの普通車のみ
の御利用となります(背高車、幅広の御車
は、入場不可です)

関東、関西、三重、アメリカ支部につづいて中国・四国支部の設立を計画しています。左記の要領で設立總會を開催いたしますので、中国・四国に在住の名古屋学院大学卒業生のみなさんふるってご参加ください。

とき 一九九四年十一月五日(土)

午後三時より設立總會

午後五時より親睦会

ところ 岡山アークホテル

○電話 086-2333-2200

○住所 〒700 岡山市下石井2-6-1

参加費 七、〇〇〇円

連絡先 世話人 藤原 一致

(アストロ興産、電話0864-44-5252)

世話人 木南 正俊

(自宅、電話0839-25-0800)

三重支部

昨年の大学本部でのホームカミングデーの際、三重支部總會の決議事項の合意並びに母校の基盤の強化、拡充発展の希求支援の趣旨に沿って93年に引き続き、本年94年度今年の活動に当って、先ず本年度總會の予備会を2月11日久居市のレストラン本山(本大学のOB宅)にて有志6名で集いました。新年に行なわれた大学本部同窓会役員会の報告及び三重支部会の運営活動に当って、本部役員会への役員の追加選出、活動資金等、具体的運営面での議題の提起を行ない、3月27日湯の山グリーンホテルにて、二日間に渡って三重支部總會を開く事に決めました。湯の山温泉での總會では高田同窓会副会長の臨席にて総勢十名の出席にて、

関東支部

昨年7月31日(土)に、東京地区で第一回同窓会が開かれ20名が創立總會にはせまじました。会場は、東京六本木の日米交流に由緒ある「国際文化会館・榊山ルーム」にて立食形式で行なわれ、参加者も1期生(2名)から93年度卒業生まで幅広く集まりました。当日、参加の諸氏は自己紹介とともに、懐かしい大学時代のエピソードや近況についてユーモアをまじえた楽しい雰囲気なかで語りあいました。名古屋学院大学

大学の現況、今後将来に至る存亡の憂いと同時に更なる飛躍発展を願い、影に日向に大学支援の方法論を多種活発に談義致しました。

三重支部会そのものも、当初発足時よりさらに若い世代に活動を移行し、盛り上げて行こうとの方向で、30歳代のOBの方々に中心になって頂いて、幅広く一層の活性化を図って行こうとの総意で總會の締めくくりと致しました。今後の大学に要望したい項目としては、マスコミ出版会、予備校等に対し、チャンネルが弱い印象を外部より私達は感じ、広く日本社会、或いは世間にもっとその存在と優秀さをアピールして、井の中の蛙的な天下太平の安泰に甘んじること無く、刷新と改革、発展と安定をめざし世間の高い評価を得るようになっていってほしいと祈念致しております。

今年の秋頃本年第二回日の支部總會を予定しております。

(三重支部 中野 隆自)

が創立されてより三〇年近く経過したにもかかわらず、互いの集まる機会がこれまででなかった事は非常に残念なことであったため、今後は定期的に年一回同窓会を行なう事となりました。

なお、当日の会を有意義なものとするため同窓生(3名)による専門的テーマの講演も行なわれ、会を有意義なものとなりました。内容は以下のとおりです。

- 1 「金融市場の変化と現況」伊藤 忠治氏(創価短期大学・専任講師)
- 2 「日本IBMのパソコン戦略」戸塚 正康氏
- 3 「日本の大学改革の現状と国際交流」小松 照幸(名古屋学院大学・助教授)

(関東支部 小松照幸)